

# 待ちに待った新校舎が！



財部小学校校舎完成予想図

## ☆財部小学校普通教室棟 改築工事（建築）請負 契約の締結

（賛成多数）

財部小学校普通教室棟は老朽化に伴い、改築することになりました。

旧校舎は昭和28年から30年に建設され、当時、木造建築が主流の中、鉄筋コンクリート造りのモダンな校舎でした。

しかし、この校舎も54年以上がたち、また耐震強度も不足していることもあり、改築されること。この請負契約では、鉄筋2階建て、総面積2841㎡の改築を計画しています。

※平成21年度から22年度にかけての全体事業総額は6億9008万5千円、校舎は平成22年7月までに完成する予定です。

## ◎予算

### ☆平成21年度一般会計補正予算（第3号）

（全会一致）

今回の補正は、歳入では公営住宅整備事業等に伴う地域住宅交付金2671万3千円、緊急雇用創出事業に伴う6件の臨時特例基金事業費補助金1986万6千円、財政調整基金繰入金6186万2千円及び起債対象事業追加等に伴う市債の追加8240万円、歳出は要援護者生活支援調査事業、老人保健特別会計繰出金等の社会福祉費2731万8千円の追加、新型インフルエンザの感染拡大防止のための物品購入費や検診推進事業等の衛生費2032万7千円の追加や増資に伴う畜産振興基金繰出金3千万円、森林整備林業木材産業活性化推進補助金1億5400万円、大隅大川原駅舎改修等の整備事業932万6千

円、向江公園等の都市公園管理費1260万5千円、公営住宅の改修に伴うストック総合改善事業4899万6千円、地域振興住宅建設事業の4137万6千円の追加が主なものです。



歩道整備予定の向江公園（末吉町）

## ◎水道事業決算

### ☆平成20年度曾於市水道事業会計決算認定

（賛成多数）

本市水道事業は、年数経過による施設の老朽化が進んでいる中、安全で

安定的な水の供給を図るため、年次の改良等に努めてきました。

経営状況は、給水戸数14,383戸、給水人口34,417人、供給水量（有収水量）357万4495㎥で、1日一人あたりの使用水量285ℓとなっています。事業収益は5億3774万1004円、事業費用は4億3255万4287円で純利益は1億518万6717円となりました。

## ◎陳情・意見書

次の陳情を採択し、意見書を関係機関に提出しました。

・「所得税法第56条の廃止を求める意見書」の採択を求める陳情書

（賛成多数）

・甘味資源作物に関する陳情書

（全会一致）

・保険でよい歯科医療の実現を求める陳情

（全会一致）

次の意見書を議員発議し、関係機関へ提出しました。

・平成21年度補正予算の適正な執行を求める意見書

（賛成多数）

国では、現在の補正予算の執行を停止し、不要と判断した事業は廃止する方針を示しています。

この補正予算は、現在の経済危機の景気の底割れを防ぎ、国民の生活の安心を確保するために予算化されたものですが、地方自治体では、経済危機対策のための交付金をもとに予算編成し、議会の議決を経て、実施段階に入っています。

本意見書は、国の政策見直しによる事業廃止により、地方自治体が混乱しないように、補正予算の適正な執行を求めるものです。

## ○協定の締結

☆宮崎県都城市との定住自立圏の形成に関する協定の締結

(全会一致)

定住自立圏は中心市(都城市)と周辺市町村(曾於市等)が、自らの意志で1対1の協定を締結することを積み重ねる結果として形成される圏域です。

中心市では、圏域全体の暮らしに必要な都市機能を集約的に整備します。周辺市町村では、必要な生活機能を確保し、農林業の振興や豊かな自然環境の保全等を図ります。お互いに連携・協力することにより、圏域全体の活性化を図るとともに地方圏からの人口流出を食い止め、地方圏への人の流れを創出することをねらいとしています。



都城市定住自立圏協定締結式

## ○人権擁護委員の承認

人権擁護委員候補者を推薦するため、議会に意見が求められ適任とされました。

高柳 正充氏 66歳

(財部町東馬場)

## ○副市長の選任

副市長の任期満了に伴い、中山喜夫氏の再任について提案があり、同意しました。

中山 喜夫氏 62歳

(末吉町東法楽寺)

## 7月臨時会

一般会計補正予算(第2号) 8億9737万6千円などを可決

7月臨時会は、7月3日に開会し16日に閉会しました。

☆平成21年度一般会計補正予算(第2号) (全会一致)

今回の補正は、経済危機対策に関わる国の第1次補正に伴うもので、歳入では、地域活性化・経済危機対策臨時交付金6億3382万1千円、公立学校施設整備事業費補助金8453万4千円、財源調整のための財政調整基金繰入金6171万円及び平成20年度決算に伴う前年度繰越金5755万8千円が主なものです。

歳出の主なものは、市内小中学校に地上デジタルアンテナを整備し、すべての教室に電子黒板機能付きデジタルテレ

ビを設置する学校情報通信技術環境整備事業1億9367万5千円、農道改良舗装、排水路改修等のための市単独土地改良事業1億2760万円、末吉地区に整備する救急分駐所整備事業2500万円、デジタル放送化に伴い、新たに発生する難視聴地域の解消を図る辺地共聴施設整備事業補助金4640万1千円、住宅のリフォーム費用に対して15万円を限度として補助する住宅リフォーム促進事業補助金1500万円、末吉庁舎に30キロワットの太陽光発電システムを整備する事業に3500万円、枝肉価格の低迷による肥育農家の収益性の悪化を防止し、市内産の子牛価



末吉地区救急分駐所予定地周辺地図

格を買い支えする事業に3600万円、また市営住宅設備等改善事業8200万円です。☆平成21年度曾於市水道事業特別会計補正予算 (全会一致)

今回の補正は、地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業に伴う収益的収入1170万円の追加及び収益的支出の1300万円の追加です。収益的支出の追加は、大隅上水道事業の志布志福山線路面復旧工事費です。